



2021年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年6月4日

上場会社名 株式会社カナモト 上場取引所 東 札
 コード番号 9678 URL <https://www.kanamoto.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金本 哲男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 廣瀬 俊 TEL 011(209)1600
 四半期報告書提出予定日 2021年6月11日 配当支払開始予定日 2021年7月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期第2四半期の連結業績（2020年11月1日～2021年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第2四半期	95,225	4.2	8,118	△12.1	8,683	△4.0	4,943	△7.5
2020年10月期第2四半期	91,414	△0.5	9,239	△18.0	9,046	△21.4	5,344	△26.3

(注) 包括利益 2021年10月期第2四半期 6,909百万円 (29.7%) 2020年10月期第2四半期 5,327百万円 (△29.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第2四半期	130.75	—
2020年10月期第2四半期	138.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年10月期第2四半期	300,485	131,598	41.3
2020年10月期	300,748	126,188	39.6

(参考) 自己資本 2021年10月期第2四半期 123,960百万円 2020年10月期 119,091百万円

(注) 2021年10月期第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年10月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期	—	25.00	—	40.00	65.00
2021年10月期	—	25.00	—	—	—
2021年10月期（予想）	—	—	—	45.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年10月期の連結業績予想（2020年11月1日～2021年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,300	6.3	15,000	5.3	15,200	6.5	9,000	6.3	238.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年10月期2Q	38,742,241株	2020年10月期	38,742,241株
② 期末自己株式数	2021年10月期2Q	924,596株	2020年10月期	939,142株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年10月期2Q	37,810,252株	2020年10月期2Q	38,633,054株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2021年6月7日（月）に機関投資家・アナリスト向けオンライン説明会を開催する予定です。

その模様及びこの説明内容（音声）については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、引き続き厳しい状況で推移いたしました。政府による各種政策の効果もあり経済正常化への動きは続いているものの、変異株の流行や緊急事態宣言の再発令等、未だ先行きは不透明な状況で推移しております。

当社グループが関連する建設業界におきましては、公共投資は災害復旧やインフラ関連工事、国土強靱化計画の推進等を中心に引き続き堅調に推移した一方で、減少傾向が続いている民間設備投資は、緩やかながら一部持ち直しの動きがみられたものの、弱含みで推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループでは、中期経営計画「Creative 60」（2020～2024年度）の3つの重点施策に基づき、国内外におけるアライアンスグループの基盤強化に向け、高いシナジー効果の期待出来る業務提携やM&Aを推進するとともに、さらなるソリューションの蓄積と共有化に努めるなど、会社の持続的発展と企業価値の向上に尽力しております。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は952億25百万円（前年同期比4.2%増）となりました。利益面につきましては、将来を担う人財投資やレンタル資産の運用期間延長に向けた中古建機販売の抑制などから、営業利益は81億18百万円（同12.1%減）、経常利益は86億83百万円（同4.0%減）、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は49億43百万円（同7.5%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

<建設関連>

主力事業である建設関連におきましては、民間設備投資は依然として弱さが見られたものの、各地の災害復旧・復興工事や防災減災関連工事、また、社会資本の老朽化に対応する維持・更新等を中心に、公共投資は堅調に推移したことから、全体として建設機械のレンタル需要は底堅く推移いたしました。

また、当社グループでは、レンタル用資産の適正配置や効率的運用を進める一方で、IoT・ICT関連技術を応用した機器の開発ニーズへの対応力強化も進める等、サービス品質の向上と企業体制の強化を推し進めております。

中古建機販売につきましては、期初計画どおりの売却を進めたことから、売上高は前年同期比27.9%減となりました。

以上の結果、建設関連事業の売上高は866億3百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は73億41百万円（同14.6%減）となりました。

<その他>

その他の事業につきましては、鉄鋼関連、情報関連、福祉関連ともに堅調に推移したことから、売上高は86億22百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は5億44百万円（同27.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

2020年10月15日に行われたKANAMOTO AUSTRALIA HOLDINGS PTY LTDとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、第1四半期連結会計期間に確定しています。当該暫定的な会計処理の確定に伴い、当第2四半期連結会計期間の要約四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の配分の見直しが反映されています。前連結会計年度末との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額を用いています。

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は3,004億85百万円となり、前連結会計年度末から2億62百万円の減少となりました。これは主に「現金及び預金」が36億90百万円、「建物及び構築物」が13億30百万円増加した一方で、「受取手形及び売掛金」が64億22百万円減少したことによるものであります。

負債合計は1,688億87百万円となり、前連結会計年度末から56億72百万円の減少となりました。これは主に「長期借入金」が12億15百万円増加した一方で、「支払手形及び買掛金」が45億79百万円及び「長期未払金」が29億99百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は1,315億98百万円となり、前連結会計年度末から54億9百万円の増加となりました。これは主に「親会社株主に帰属する四半期純利益」を49億43百万円の計上及び「為替換算調整勘定」が9億14百万円増加した一方で、「剰余金の配当」によって15億12百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は517億17百万円となり、前連結会計年度末から36億94百万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は200億84百万円（前年同期比4.9%の減少）となりました。

これは主に「税金等調整前四半期純利益」を83億97百万円、「減価償却費」を154億1百万円及び「売上債権の増減額」は58億99百万円の収入をそれぞれ計上した一方で、「仕入債務の増減額」は53億30百万円、「レンタル用資産取得による支出」は27億77百万円及び「法人税等の支払額」は21億42百万円の支出をそれぞれ計上したことが要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって支出した資金は23億53百万円（前年同期は17億51百万円の支出）となりました。

これは主に「有形固定資産の取得による支出」を22億92百万円計上したことが要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって支出した資金は144億36百万円（前年同期は165億22百万円の支出）となりました。

これは主に「長期借入れによる収入」を79億80百万円計上した一方で、「割賦債務の返済による支出」を127億73百万円、「長期借入金の返済による支出」を72億80百万円、「配当金の支払額」を15億9百万円それぞれ計上したことが要因となります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月4日に「2020年10月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で開示しました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,563	52,253
受取手形及び売掛金	41,451	35,029
電子記録債権	6,166	6,960
商品及び製品	1,205	1,992
未成工事支出金	148	81
原材料及び貯蔵品	1,234	1,387
建設機材	19,918	18,770
その他	2,495	3,150
貸倒引当金	△230	△228
流動資産合計	120,952	119,397
固定資産		
有形固定資産		
レンタル用資産	251,783	258,526
減価償却累計額	△153,225	△159,208
レンタル用資産(純額)	98,557	99,318
建物及び構築物	39,804	41,903
減価償却累計額	△23,293	△24,061
建物及び構築物(純額)	16,510	17,841
機械装置及び運搬具	9,619	9,742
減価償却累計額	△8,025	△8,118
機械装置及び運搬具(純額)	1,593	1,624
土地	37,421	37,728
その他	4,143	3,168
減価償却累計額	△2,054	△2,113
その他(純額)	2,088	1,054
有形固定資産合計	156,171	157,567
無形固定資産		
のれん	6,600	6,402
顧客関連資産	1,276	1,382
その他	1,455	1,405
無形固定資産合計	9,332	9,190
投資その他の資産		
投資有価証券	8,974	9,260
繰延税金資産	2,377	2,176
その他	3,557	3,488
貸倒引当金	△618	△595
投資その他の資産合計	14,291	14,328
固定資産合計	179,795	181,087
資産合計	300,748	300,485

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,975	33,396
短期借入金	1,035	960
1年内償還予定の社債	44	24
1年内返済予定の長期借入金	12,942	13,114
リース債務	1,342	1,318
未払法人税等	2,401	3,094
賞与引当金	1,462	1,571
未払金	25,489	25,186
その他	4,913	4,525
流動負債合計	87,606	83,191
固定負債		
社債	24	12
長期借入金	30,082	31,297
リース債務	2,857	3,237
長期未払金	52,246	49,247
退職給付に係る負債	498	524
資産除去債務	545	572
繰延税金負債	606	704
その他	91	98
固定負債合計	86,953	85,695
負債合計	174,559	168,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,829	17,829
資本剰余金	19,324	19,326
利益剰余金	82,599	86,030
自己株式	△2,009	△1,978
株主資本合計	117,744	121,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,522	2,009
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	△126	788
退職給付に係る調整累計額	△49	△46
その他の包括利益累計額合計	1,346	2,750
非支配株主持分	7,097	7,638
純資産合計	126,188	131,598
負債純資産合計	300,748	300,485

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
売上高	91,414	95,225
売上原価	64,075	66,810
売上総利益	27,338	28,415
販売費及び一般管理費	18,098	20,297
営業利益	9,239	8,118
営業外収益		
受取利息	18	22
受取配当金	72	66
受取保険料	57	298
受取賃貸料	44	44
その他	215	294
営業外収益合計	409	726
営業外費用		
支払利息	40	51
為替差損	115	—
リース解約損	37	12
貸倒引当金繰入額	328	—
その他	80	97
営業外費用合計	602	161
経常利益	9,046	8,683
特別利益		
固定資産売却益	4	6
関係会社株式売却益	—	20
補助金収入	12	17
特別利益合計	16	43
特別損失		
固定資産除売却損	114	79
投資有価証券評価損	127	168
関係会社株式評価損	66	—
抱合せ株式消滅差損	—	81
特別損失合計	308	329
税金等調整前四半期純利益	8,754	8,397
法人税、住民税及び事業税	2,919	2,874
法人税等調整額	△84	20
法人税等合計	2,835	2,895
四半期純利益	5,918	5,502
非支配株主に帰属する四半期純利益	574	558
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,344	4,943

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益	5,918	5,502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△589	488
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	27	914
退職給付に係る調整額	△29	4
その他の包括利益合計	△590	1,407
四半期包括利益	5,327	6,909
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,764	6,347
非支配株主に係る四半期包括利益	562	561

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,754	8,397
減価償却費	14,312	15,401
のれん償却額	71	475
固定資産除売却損益 (△は益)	110	73
レンタル用資産売却に伴う原価振替額	511	404
建設機材の取得による支出	△781	△227
レンタル用資産取得による支出	△2,456	△2,777
投資有価証券評価損益 (△は益)	127	168
関係会社株式評価損	66	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△20
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	258	△29
賞与引当金の増減額 (△は減少)	137	94
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8	32
受取利息及び受取配当金	△91	△88
レンタル用資産割賦購入支払利息	224	321
支払利息	40	51
為替差損益 (△は益)	110	△92
売上債権の増減額 (△は増加)	2,661	5,899
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△593	△851
仕入債務の増減額 (△は減少)	△541	△5,330
未払金の増減額 (△は減少)	2,022	846
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	—	81
その他	311	△301
小計	25,266	22,530
利息及び配当金の受取額	80	70
利息の支払額	△259	△374
法人税等の支払額	△3,980	△2,142
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,108	20,084
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△190	△292
定期預金の払戻による収入	190	298
有形固定資産の取得による支出	△1,325	△2,292
有形固定資産の売却による収入	5	13
無形固定資産の取得による支出	△189	△219
無形固定資産の売却による収入	—	12
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	—	7
子会社株式の取得による支出	△191	—
関係会社株式の取得による支出	△133	—
関係会社株式の売却による収入	—	22
貸付けによる支出	△50	△13
貸付金の回収による収入	127	23
長期未収入金の回収による収入	21	103
その他	△11	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,751	△2,353

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	—	△32
短期借入金の純増減額 (△は減少)	540	△75
長期借入れによる収入	6,300	7,980
長期借入金の返済による支出	△6,305	△7,280
割賦債務の返済による支出	△13,779	△12,773
リース債務の返済による支出	△721	△724
自己株式の取得による支出	△986	△0
配当金の支払額	△1,548	△1,509
非支配株主への配当金の支払額	△20	△20
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,522	△14,436
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	140
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,847	3,434
現金及び現金同等物の期首残高	43,511	48,023
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の 増加額	—	260
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,358	51,717

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報) (新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響や収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年11月1日至2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	建設関連		
売上高			
外部顧客への売上高	83,062	8,351	91,414
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	83,062	8,351	91,414
セグメント利益	8,594	428	9,023

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、鉄鋼関連事業、情報関連事業、福祉関連事業及びその他事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,594
「その他」の区分の利益	428
その他の調整額	216
四半期連結損益計算書の営業利益	9,239

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	建設関連		
売上高			
外部顧客への売上高	86,603	8,622	95,225
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	86,603	8,622	95,225
セグメント利益	7,341	544	7,885

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、鉄鋼関連事業、情報関連事業、福祉関連事業及びその他事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,341
「その他」の区分の利益	544
その他の調整額	232
四半期連結損益計算書の営業利益	8,118

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

報告セグメント「建設関連」において、前連結会計年度に行われたKANAMOTO AUSTRALIA HOLDINGS PTY LTDの企業結合について取得原価の配分が完了していなかったため、のれんの金額は暫定的に算出された金額でありましたが、第1四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定したためのれんの金額を修正しております。

この結果、のれんの金額は2,327百万円であります。